



Vol. 26 No. 1 (No. 292) 2016. 4. 15  
東洋英和女学院大学図書館

## メモれ！

学長・図書館長 池田明史

幼少期には（いまでもそうだとわれそうだが）「注意欠陥性多動児」の烙印を押されていたので、図書館は苦手だった。現在ではADHDなる立派な名前が付いているが、当時は単に「落ち着きのない厄介なガキ」だったから、図書館のような静謐な空間に閉じ込めると、何をやらすかわかったものではないと危険視されて、連れて行ってもらえなかったという事情もある。書物それ自体は好きで、ゴロゴロと寝転びながら両親の本棚から読めそうなものを物色してきて片っ端から「眺めて」いた。いまから思えば、とてもじゃないが「読んだ」うちには入らないだろう。父が学者、それも歴史研究者で、母も読書家だったので、歴史系や文学系の本には事欠かなかった。また、小学校で「問題児」扱いされて孤立することが多かった我が子を憐れんだ両親が、乏しい財布を遣り繰りして「少年少女世界文学全集」や「ジュニア版太平洋戦史」などを買い与えてくれたのを貪り読んでいた。小学校三年生の時から始めた新聞配達のアパートで、爪に火を点すようにして貯めた小遣いをはたいて買い揃えたのが講談社版の吉川英治全集で、小学校高学年から中学生にかけてまさに座右の書となった。難しい字にはルビが振ってあったので、小学生にも楽に読めたのである。

そんなこんなでそれなりにリテラシーは身に付いたが、長ずるに及んで、また商売柄の必要から図書館に通うようになって初めて、自分の欠缺を痛感させられる仕儀となった。人の話を聞いたり、本を読んだりする際には、そもそも別のことができない。なにしろADHDなのだ。なので、メモやノートを取るという習慣がなかった。レファレンス・カウンターで聞いたばかりのNDCを間違えて、もう一度聞き直す度胸もなくて、本棚のジャングルを難民のように彷徨う羽目に幾度も陥るのである。覚えの悪い者ほどメモを取らないというが、その通りである。思考も記憶も、紙と脳の間を往復するところに生じるのである。学生諸君！だからメモれ！人間は、他人が書いたもののタイトルや発行年など、必ず忘れる、もしくは間違える動物なのだ。このことを知って、目指す書物の詳細をデータベースその他で確認し、それをメモするだけで、文献調査難民になるリスクを避けることができる（はずである）。

メモれ！それが、図書館長の実体験から発する心の叫びである。



1年生の方、ご入学おめでとうございます。在学の方、進級おめでとうございます。

4月はスタートの季節です。この一年間が、皆さんにとって充実したものとなりますように…図書館でもお手伝いさせていただきたいと思っています。大学在学中に、授業以外で図書館に入ったことがない、そんな人もいますかもしれません。大学の図書館は、高校の図書室や公共図書館とはちょっと違う使い方もあるんです。それは……

まずは図書館立ち寄ってみてください。そしてあなたなりの使い方を教えてください。

4月から図書館入口に「Library Tree」というメッセージボードを設置しました。皆さんからのメッセージを掲示しています。年に何回かテーマを変える予定なので、どうぞあなたのメッセージも投稿してください。

やり方は簡単！ふせんに書いて、ペタッと貼るだけ。あなたの「つぶやき」をお待ちしています。



先生、職員、学生の方々にお寄せいただいたメッセージの一部を紹介します。

他にも多数ありますので、ぜひ図書館へ来て、読んでください。

図書館を「アジト」にしよう。(村上先生)

“できる人”は、本を探すのが上手です。(小寺先生)

図書館を、大学に来ている時の「散歩」コースにすると、毎回新しい発見と生活を充実させることを保証します。(長谷川明弘先生)

大学での学びの柱の一つは、自分で調べる力を身につけることです。そしてものごとを調べるのに、もっとも重要な情報源は本です。

必要な本を探すのは簡単ではありませんが、図書館の本棚をながめ歩き、読むべき本を絞り込めるようになりましょう。(澁谷先生)

図書館なくして、研究成り立たず。我々の良き友です。(小久保先生)

自分流を楽しんで… 東洋英和の図書館は美しいカフェのような空間です。シーンとしたこの空間で、小説を読んで物思いにふけるもよし、

レポートを仕上げるのもよし、自分流の過ごし方を楽しんでください。(斉藤先生)

図書館は、自由で創造性あふれる空間です。(増田先生)

Many doors to the unknown are waiting for you in the library.

You may be surprised to discover a completely different world appear before you. (前田先生)

“ちょっと一人になりたいなあ”そんなときに、図書館は居心地のいい場所です。

本の間を歩いて、知らない言葉の響きにもさそわれることもあります。ぜひ図書館 walking お試しを! (前川先生)

本との出会い、ことばとの出会いが、あなたの人生をより豊かなものにしてくれるでしょう。(林先生)

ある本との運命的な出会い、そのことを保証してくれるのが図書館のひとつの役割なのです。

図書館に行って、未来の自分と出会ってください。(横倉先生)

知る自由を謳歌しよう! 好奇心を満たそう! 居心地の良い場所を見つけよう! 新たな自分を発見しよう!

世界と人と繋がろう! 次の一歩のために! (金森先生)

Come over just to take a nap…Aand you'll feel smarter. (武藤先生)

図書館には、ワクワク★ドキドキがいっぱい! (町田小織先生)

今はネット社会です。指先をプッシュしたりスライドするだけで、いろんな情報が手に入ります。でも、図書館に来てみると、ネットにはひっか

らないお宝を出会うことがあります。宝探しに図書館に行ってみましょう! 入口のバーコードにドキドキしながら。(角藤先生)

図書館にいると知的好奇心がムクムクと湧き上がりませんか? 少なくとも私は、少しだけ自分が賢くなった気がします。(山本先生)

ネットの情報蓄積はわずか 20 年。本の情報蓄積はおよそ 2000 年! どちらを選びますか? (小寺先生)

学生の勉強する姿 頑張っている学生の姿を見ると、私も頑張ろう!というパワーをもらえます。(図書館青山さん)

きれいで快適な英和の図書館で「読まず嫌い」を治してしましましょう!(院図書室:池上さん)

読書を楽しむもよし、仲間と熱く語らうもよし。実りある学生生活に図書館をお役立てください!(院図書室:古屋さん)

Welcome to the Library あなたの知的好奇心をここで満たしてください。(図書館:田坂さん)

「ネット絶ち」知的作業に没頭してみよう。(学サポ安藤さん)

新作の図書が早い段階で置かれているのが嬉しいです! 雰囲気大好きです!! (入試広報佐藤さん)

図書館=本、ではありません。図書館は、いろんな「顔」を持っています。何かに興味を持ったら、まず図書館へ!(国際交流:坪内さん)

良い本、良い仲間との出会いがあります! 図書館をあなたのキャンパスライフの拠点にしてください!(院図書室:かながわさん)

本がとてもきれいに管理されているので、特に子どもの絵本をよくかりに行きます。(アクア浅川さん)

静かに集中したいときも、話し合いながら取り組みたいときも、図書館のスペースをご活用ください。(院図書室:山川さん)

素敵な絵本がたくさんある図書館。癒されに来てみませんか?(健康相談室:堂坂さん)

もうひとつの自分の部屋として、自由な空間を提供します。(院図書室:藤野さん)

図書館を使い倒そう!(院図書室:斉藤さん)

図書館はとても静かなので、課題、自習、読書をするのに最適です!(石橋さん)

気が休まる場所(本間さん)

#### <おすすめの場所>

地下 2 階 新聞の縮刷版コーナー 自分の過去をふりかえるとき、郷愁にひたれます。(坪井先生)

北側の緑と向き合っていると、まるで「森の中で、読書!!」の気分です。(石渡先生)

B2Fにある DVD や VHS をよく利用しています。(三上先生)

図書館にはいろいろな椅子があります。好きなチェアを見つけて下さい。おススメは 1 階雑誌コーナーの Y チェア!! (図書館:鷺谷さん)

東側、7 号館に面した窓からチラチラとそそぐ光と木立の風に揺れる様は、一服の清涼剤のようです。(図書館:宮田さん)

ソファで本を読んでみてください。アイデアがわきます。(名嘉先生)

地下 2 階から地上 2 階にわたる広々とした誰もが利用できる場所です。また静かな空間はあなたの心をリラックスさせるでしょう。

PC を利用できるスペース、DVD やビデオなどを視聴できるブース、Wi-Fi も完備されています。ぜひご利用ください。(清野さん)

とくに読みたい本のあてがなくても、新着図書コーナーで面白い本に出あえることが多くて楽しいです。

入ってすぐ、さくっと借りられる!(入試広報小野さん)

入館ゲートすぐ横に佇んでいるかわせみは、短期大学の時代に図書館の基礎作りに貢献された先輩の図書館員の方から寄贈されたもの

です。図書館が発行している「図書館だより」のタイトルデザインになっています。やや控えめではありますが、利用者と図書館を優しく見守ってくれている図書館の“守り神”です。(図書館横田さん)

先生がおすすめする本(本間さん) \* 1F にはリザーブ図書やゼミ選書の書架があります。

地下 2 階のリプロホールでの DVD 鑑賞などは、ぜひおススメ!!です。(石渡先生)

1F 入館ゲートを入ってすぐの新着コーナーには、新しく図書館に入った本がいち早く並びます。(図書館:小倉さん)

1F 入ってすぐの窓側の席!! 明るい吹き抜けの場所で午後のひととき。(図書館:石沢さん)

自由に見たい DVD 等が持ち込める AV ブース(B2F)がおすすめです!!

1 人でも三人でも見られるので、友達とワイワイ見るのもよし、1 人で静かに見るのもあります!(国コミュ真島さん)

#### <おすすめの本>

『ジョゼフ・フーシェ』大学生になったら、苦難を乗り越えて成長してゆく、とかではない、こうした伝記を読んでも楽しいと思います。

人間や政治に、もっと興味がでるかも!? 岩波文庫にあり!(望月敏弘先生)

宮部みゆき全作品 一冊をあげるなら『火車』新潮文庫（宮崎先生）

久しぶりに本でも読んでみようかな…と思った時は「Booklog(ブクログ)をのぞいてみたりします。(国際交流:服部さん)

『フランス人は10着しか服を持たない』(国際交流:小松さん)

『子どもの宇宙』岩波新書 読むべき本!! (篠原先生)

ホッと一息つきたい時、ちょっとイライラしてる時、いろいろ疲れてしまった時…!『ぐでたま哲学』でリラックスしましょう。(国コミュ阪本さん)

### <読書について…>

読書はいいですよ。(キャリア高野沢さん)

大好きな10冊 10本 10曲を! (小坂先生)

本を読むと視野が広がり賢くなります。(名嘉先生)

通学時間を“スマホ時間”ではなく、“読書時間”にすれば、たくさんの本が読めるはず! (キャリア丸谷さん)

## 図書館からのお知らせ



### おすすめの本コーナー



1階カウンター前に「おすすめの本」コーナーを新設しました。

テーマを変えて、関連の本をフィーチャーします。

また、本を立たせたり、寝かしたり、斜めにしたり…本の並べ方にも趣向を凝らす予定です。

気になる本に目が止まったら…それはあなたと本との出会い。

ほとんどが貸し出し出来ますので、どうぞご利用ください。

4月～5月は、心理学、幼児教育、外交、国際協力など、各学科の主要な分野の入門書的な本をそろえます。



### エントランス展示

図書館1階エントランスの展示ケースにて、「ビアトリクス・ポター生誕150周年」と題した展示を行っています。

2016年は、イギリスの絵本作家ビアトリクス・ポターの生誕から150年目にあたります。

ピーターラビットの絵本シリーズで広く知られる彼女ですが、実はキノコの研究や羊の飼育にも力を入れていたことをご存じでしょうか。

当館所蔵資料の中から、ポターのちょっと意外なエピソードやピーターラビット誕生秘話をご紹介します。ぜひご覧ください。



### コンセント利用について

4月から、図書館の机に設置されているコンセントが利用できます。ただし、充電したまま席を離れないでください。

2階はサイレントスペースになっていますので、パソコンやコンセントの利用はご遠慮ください。

編集担当：杉森